

\*\*2008年12月改訂（第5版）  
\*2005年11月改訂

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	61AM-4197
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年11月

貯法：室温保存 注意：「取扱い上の注意」 の項参照 使用期限：容器又は外箱に表示
---

商品番号  
**J-25**

漢方製剤  
**JPS 桂枝茯苓丸 料エキス顆粒〔調剤用〕**

【組成・性状】

販売名	J P S 桂枝茯苓丸料エキス顆粒〔調剤用〕
剤形・色調	顆粒・淡褐色
におい・味	特異な芳香があり、わずかに甘味と苦味がある
含量：本剤 7.5g中	日局 ケ イ ヒ……………4g 日局 プクリョウ……………4g 日局 ボタンビ……………4g 日局 トウニン……………4g 日局 シャクヤク……………4g **上記の混合生薬より抽出した日局桂枝茯苓丸エ キス2.6gを含有する。 添加物…ステアリン酸Mg、シヨ糖脂肪酸エス テル、乳糖水和物

【効能・効果】

比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、  
のぼせて足冷えなどを訴える次の諸症  
月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症、肩こ  
り、めまい、頭重、打ち身（打撲症）、しもやけ、しみ

【用法・用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経  
口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

著しく体力の衰えている患者〔副作用があらわれやすくなり、  
その症状が増強されるおそれがある。〕

2. 重要な基本的注意

- (1)本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮  
して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所  
見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意  
すること。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を  
実施していないため、発現頻度は不明である。

(1)重大な副作用

肝機能障害、黄疸：AST（GOT）、ALT（GPT）、Al-P、  
γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれるこ  
とがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合  
には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

	頻度不明
過敏症 <sup>注1)</sup>	発疹、発赤、痒痒等
消化器	食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど  
注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないこと  
が望ましい。〔本剤に含まれるトウニン、ボタンビにより流  
早産の危険性がある。〕

6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少な  
い。〕

【取扱い上の注意】

直射日光をさけ、防湿に注意すること。開封後は湿気をさけ、  
フタをよく閉めて保存すること。

【包装】

500g 750g(2.5g×300包) 105g(2.5g×42包)

【文献請求先】

ジェーピーエス製薬株式会社 医薬部  
〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-42-22  
TEL (045) 593-2060

\*  
ジェーピーエス製薬株式会社  
製造販売元 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台196-1  
本 社 横浜市都筑区東山田4-42-22